

第62回三木市中学校総合体育大会剣道の部

自由が丘中 団体戦で堂々の優勝

個人 自由中今福こここ 一番の抜き銅!

緑が丘中栗田に対し昨年の雪辱を果たす

平成28年7月2日(土)三木市立三木中学校体育館において、三木中学校総合体育大会剣道の部が行われた。

梅雨はまだ明け切ってはいなくて、朝から曇り空だったが、幸い雨の心配はなく、午前中にもかかわらず気温が30度を超えた。加えて湿度の高い状態での試合とあつて、室内であっても選手の消耗が心配された。なぜならこの大会は



男子の場合、予選リーグだけで一人最低4試合、決勝トーナメントでもさらに続けて最高3試合という試合を行わねばならないからである。最近全国で部活動の練習中やスポーツの試合中に生徒が倒れ救急搬送される事故が相次いでいるが、今大会でも体温上昇による熱中症に十分注意して、こまめな水分補給、途中休憩を取りながら行うなどの配慮をした大会運営となった。

選手は、三木中学校、自由が丘中学校、緑が丘中学校、三木東中学校の4校から男子15名、女子4名、計19名が参加した。女子が3名以上参加するのは数年ぶりで、久しぶりにリーグ戦を組むことができた。

また、審判員は、三木市剣道連盟会員15名が受け持った。計時等の補助員は保護者にもお願いした。開会式の後、男子個人戦が予選リーグ決勝トーナメント戦の形で行われた。予選の3リーグの各1位から3位までが決勝トーナメントに出場できる。決勝は昨年の新

人大会と同じ自由が丘中2年今福対緑が丘中2年栗田だった。昨年の新人大会では栗田が勝ったが、今大会では、今福が栗田の面に対して抜き銅を奪って優勝した。

準優勝は栗田、3位に自由中2年の岡本、三木中3年の岡田が入った。

女子個人戦は、リーグ戦で三木東中3年の加村が緑が丘中1年井上と引分け、三木中2年の日高、緑が丘中1年の濱邊にどちらも小手を奪っての一本勝ちで勝ち点7で優勝した。準優勝は勝ち点4の日高、3位は3戦して3引分けで勝ち点3の井上だった。

	先	次	中	副	大
自由中	今福 2年	岡本 2年	松本 2年	大西 3年	深見 3年
三木中	岡田 3年	岩居 3年	岡部 2年	神吉 1年	井上 2年

男子団体戦は、自由が丘中と三木中との対戦。先鋒今福対岡田は、



両者責め合うも有効打突が奪えず、引き分け。次鋒岡本対岩居は、岡本の小手返し面が決まり一本勝ち。中堅松本対岡部

は、松本が常に攻め続け、面で一本勝ち。次の副将の大西対神吉は引き分け。この時点で自由が丘中の勝ちが決まった。大将深見対井上は引き分けに終わり、結局は2対0で自由が丘中が優勝を勝ち取った。

閉会式の審判長講評では、小椋審判長から剣道の所作においてまだまだ正しく行えていないと厳しく指摘された。

その後の稽古会でも、所作について丁寧に教えていただき、日頃なかなか多くの先生と稽古ができない剣道部員にとってよい機会となった。



(報告 波田幸信)